

標題音楽 組曲「展覧会の絵」を聴こう！

作曲者 ムソルグスキー (ロシア) / 編曲者 ラヴェル (フランス)

No. 2

年 組 番 氏名

<p>プロムナード 〈音楽の特徴〉</p>	〈曲想〉
<p>1. グノーム(小人) 〈音楽の特徴〉</p>	〈曲想〉
<p>プロムナード</p>	
<p>2. 古城 オペラ「ルスランとリュドミラ」の舞台装置をスケッチしたもの。 "中世幻想的なお城。その前で吟遊詩人が歌っている。" というメッセージが添えられている。</p>	
<p>プロムナード</p>	
<p>3. チュイルリーの庭 パリの中心チュイルリー公園のことを指しているが公園の背景は無い。子供たちの生き生きとした姿が曲の背景に。ここでは公園で遊び疲れた子供たちの口喧嘩を表現している。</p>	
<p>4. ビドロ ビドロとはポーランド語で「牛の集団」または「家畜のように虐げられた人々」という意味。どっしりとした伴奏にのった重たい主題から始まる。北ヨーロッパやロシアの農民の重苦しい憂鬱、圧政に苦しむポーランド人を表現している。</p>	
<p>プロムナード</p>	
<p>5. 卵の殻を付けたひなの踊り バレエ「トレルピ」の衣装デザインを見て書かれたもの。 ひな鳥のどんな様子が表現されているかな。</p>	

6. サムエル・ゴールテンブルクとシュムイレ

裕福で傲慢な男と貧しく卑屈なシュムイレの2人の会話を表現。

貧しいシュムイレは上目づかいで金持ちのサムエルにこそと話しかけるが、サムエルはどっしりと構えはね返してしまう。

2人のユダヤ人(金持ちと貧乏人)を描いたもの →社会風刺

(プロムナード) 編曲ではカット

7. リモージュの市場

フランス中部の町でスケッチした14枚の絵。ロシアとは対照的に明るく活気のある人々の様子を描いている。

8. カタコンブ

ローマ時代の地下墓地のこと。死期を感じ取ったガルトマンがカタコンブへ導かれていく様子を描いている。

〈音楽の特徴〉

〈曲想〉

プロムナード

9. バーバ・ヤーガの小屋

ロシアに伝わる古い伝説に出てくるバーバ・ヤーガの小屋を表す。魔女は人骨の柵に囲まれて、鶏の脚の上に立つ家に住み、ほうきに乗って空を飛ぶ。ガルトマンが気に入っていた作品。

〈音楽の特徴〉

〈曲想〉

10. キエフの大門

キエフに設計される大門の設計図がヒントにうまれた絵画。

ムソルグスキーとガルトマンの永遠の友情を現した音楽。ガルトマンに対する尊敬の念が音楽で表現されている。

〈音楽の特徴〉

〈曲想〉